



みんなの願いをこめて七夕会(かがやき)

第58号
(令和元年8月)

やすぎ

議会だより

もくじ

■6月定例会	2
■委員会構成	5
■一般質問(11人が質問)	6
■議案等議決結果	18
■やす・ドリームリレートーク	20



議会、議会だよりなどに関するご意見、ご要望をお寄せください。

発行／鳥取県八頭町議会 編集／八頭町議会広報常任委員会
Tel.0858-72-3975 Fax.0858-72-2641

船岡地域で 開始される!

6月定例会を6日から19日まで14日間の会期で開催した。

若桜鉄道株式会社の経営状況などの報告5件、令和元年度八頭町一般会計補正予算(第2号)など町長提出議案5件、条例制定及び一部改正4件、議員提出議案4件を審議し、全議案を原案どおり可決した。

陳情は11件を審議し4件を採択、7件を不採択とした。

一般質問は、11人の議員が登壇、町政全般について町長、教育長に質問した。

報告

◇公社などの経営状況

○八頭町土地開発公社

【収入】

6千円(利息)

【支出】

7万円(管理費)

○一般財団法人八頭町農業公社

【資産合計】

3343万円

【収支決算額】

1087万円

(次期繰越金)

○八東地域振興株式会社

【売上高】

4719万円

【繰越損失】

45万円

○若桜鉄道株式会社

6月14日、株主総会が

開催され、平成30年度の事業報告があった。

【旅客人員】

旅客人員は35万8百人

余りで、前年に比べて約

2万5千人余りの増加と

なった。旅客収入は52

49万円弱で、前年対比

約156万円余りの増加

となった。これは通学定

期券の利用者が増加した

ことや、観光列車「昭和」

がデビューしたことによ

り、普通旅客が増加した

ことが主な要因。

【安全対策】

枕木の交換、踏切の改

良などの安全関連施設の

修繕を行うとともに八東

駅行き違い施設の事業を

実施している。

【営業収益額】

3億574万円

(運賃収入・JRに貸

し出す車両使用料収入、

若桜と八頭両町からの受

託費、国庫補助金など)

【支出合計額】

3億530万円

【単年度決算】

26万円の黒字

契約

◇八頭町移動系デジタル

防災行政無線整備工事請

負契約の締結

○契約金額

6022万5000円

○契約の相手

ビーフリー株式会社

代表取締役 永田 正一

条例制定

◇八頭町森林環境譲与税

基金条例の制定

「新たな森林管理制度」

に伴い「森林環境税及び

森林環境贈与税」が創設

されたため条例を制定す

るもの。

この税の主な使途とし

て、間伐や人材育成・担

い手の確保・木材の利用

の促進や普及啓発などの

整備促進に関する費用に

充てるもの。

【質疑】

積立額について明示さ

れていないが。

【答弁】

吉田町長

入って来た幾ばくかは

使わせていただく。残つ

た部分を基金として積み

立てていく。

条例改正

◇八頭町特別職の職員で

非常勤のもの報酬及び

費用弁償に関する一部改正

国会議員の選挙時の執行

経費の基準に関する法律の

一部改正に伴い、八頭町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する。

選挙長・選挙立会人・

投票管理者・投票立会人・開票管理者・開票立会人・期日前投票所の投票管理者及び不在者投票管理者の報酬を一部改正するもの。

◇ふるさと活性化基金設置条例の一部改正

今年3月、自動運転バスの実証実験が行われた。今後鉄道だけでなく、現在の「若桜鉄道運行に関する事業」を「鉄道・バス等の公共機関に関する事業」に改正するもの。

◇八頭町地区福祉施設置条例の一部改正

新たに設立した「船岡地区まちづくり委員会」の地域福祉活動の拠点を船岡地区公民館内に設置しようとするもの。

補正予算

◇令和元年度一般会計補正予算（第2号）

歳入・歳出予算にそれぞれ3709万円を追加し、105億257万円とするもの。

【主な歳出】

○財産管理費

774万円

公共施設の塗装成分分析に係わる調査業務委託料

○幼児教育無償化事業

985万円

○システム改修経費

○戦略的園芸品目総合対策事業

666万円

新規実施に伴う補助金

○産地パワーアップ事業

369万円

新規実施に伴う補助金

○天満橋改良事業

600万円

施工内容の変更

○耐震改修等事業

807万円

見込み増の関係経費

質疑

この3月に当初予算を決定後、日にちが経っていないのになぜ補正なのか。

答弁 吉田町長

一つは喫緊のもの。また、年度が始まり新たに事業の確定したものに就いて補正をした。

財産の貸付

◇財産の貸付

旧安部保育所について、株式会社あきんど太郎に有償で貸し付けようとするもの。旧安部保育所であごま油の搾油、サプリメント等の健康食品を製造し、圃場でであごまの栽培を行い、民間事業者が主体となつての雇用創出、所得の向上、農業振興を図り、地域活力の保全につなげようとするもの。

貸付期間は、令和元年7月1日から11年6月30日までの10年間、賃料は、月額6万218円とし、貸付開始から5年間に就いては賃料を免除する。

①63号を取り下げして同じ内容の提案なのか。

②委員会に付託して再審議すべきでは。

③行政手続の問題は。

④財産譲渡にしないのは。
⑤補助金返還してから賃貸契約すべきでは。

答弁 吉田町長

①従前は「使用賃借」だったが「賃貸借」に変更。

②産業福祉常任委員会で撤回となつたからだ。

③有利なことを考えた。

④貸し付けだ。理解してもらいたい。

⑤厚生労働省の通達があり空き施設の有効利用を考えた。

反対討論 小原 徹也

産業福祉常任委員会で疑問点を問うた。しかし、執行部へ資料を求めたが認められなく疑問は深まるばかりだ。議員の職務として、議案を審議審査することだ。採決に当り判断できないため、反対する。

賛成討論 森 亜紀子

空き施設の利活用として有益。住民説明会でも

関心が寄せられ期待が高まっていると思う。大事なことは地域住民の声。また地域の圃場でであごまの栽培ができれば、農業振興にもつながると考えるため賛成する。

反対討論 岡嶋 正広

国へ補助金の残額を支払いし、身辺の浄化後に財産の身の振り方を考えるべきである。賃貸借であれば維持管理費も必要となる。また民間企業ではなく公益事業者と契約すべきであり、総合的に判断すると賛成しかねる。

反対討論 川西 聡

県は、「賃貸契約を結ぶ際は負の財産を整理するのが原則」との見解だ。本町は、財政的に有利な契約との主張だが納得できない。



▲ えごまの加工施設として活用される旧安部保育所

平成31年

第3回臨時会

4月26日

副議長選挙

尾島勲副議長の辞任に伴う副議長選挙。

投票の結果、栄田秀之議員が副議長に当選。

専決処分の承認

◇八頭町税条例の一部改正

◇八頭町国民健康保険条例の一部改正

◇八頭町介護保険条例の一部改正

以上3議案は承認。

契約

◇旧船岡中学校改修工事請負契約の締結

○契約金額

5259万6000円

○契約の相手

こおげ・岡島建設特定

建設工事共同企業体

代表者こおげ建設株式会社

代表取締役 山根 敏樹

◇八頭町立八頭中学校空調設備整備（機械設備）工事請負契約の締結

○契約金額

6717万6000円

○契約の相手

日本上下・山陰建設特

定建設工事共同企業体

代表者 日本上下水道工

業株式会社

代表取締役 山田 俊彦

質疑

競争原理を生かすための入札として機能しているのか。

答弁

吉田町長

JVということで指名競争入札としている。

補正予算

◇平成31年度八頭町一般会計補正予算（第1号）

歳入・歳出予算にそれ

ぞれ4348万円を追加

し、104億6548万

円とするもの。

【主な歳出】

○プレミアム付商品券

事業

3428万円

低所得者・子育て世代の支援を目的とするもの。

○八頭小学校空調設備整備事業

916万円

質疑

子どもの数が違うのではないか。計画がずさんでは。

答弁

吉田町長

相違は転入児童（保育所、小、中学校）の数だ。

以上3議案は原案可決。

令和元年

第4回臨時会

5月8日

常任委員会委員等の選任

※5ページの委員会構成をご覧ください。

令和元年

第5回臨時会

5月31日

契約

◇備品購入契約の締結（パソコン）

○契約金額

2591万9902円

○契約の相手

株式会社モリックス

ジャパン

代表取締役 田井 智

◇備品購入契約の締結（町営バス）

○契約金額

4142万6000円

○契約の相手

島根日産自動車株式

会社

代表取締役 多久和 稔

条例改正

◇八頭町国民健康保険条例の一部改正

質疑

医療分が383円、少額増額になるが、住民に

負担を課すのはいかなるものか。

答弁

吉田町長

適正な国保会計の運営

ということ、できるだけ

低い税アップ、負担の

上げ幅を少なくしている。

以上3議案は原案可決。



▲ 防災力を強めて安全安心の町へ 操法大会(岩美町)

5月8日、第4回臨時会を開催し、常任委員会・議会運営委員会の構成を行った。

委 員 会 構 成

産業福祉常任委員会

委 員	委 員	委 員	委 員	委 員	副 委 員 長	委 員 長
谷 本 正 敏	下 田 敏 夫	高 橋 信 一 郎	小 原 徹 也	岡 嶋 正 広	森 亜 紀 子	川 西 聡

町民課、福祉課、保健課、産業観光課、農業委員会、地籍調査課、建設課及び上下水道課の所管に属する事項

総務教育常任委員会

委 員	委 員	委 員	委 員	委 員	副 委 員 長	委 員 長
栄 田 秀 之	坂 根 實 豊	中 村 美 鈴	小 林 久 幸	奥 田 の ぶ よ	尾 島 勲	小 倉 一 博

出納室、税務課、総務課、選挙管理委員会、企画課、男女共同参画センター、議会事務局、監査委員、人権推進課、及び教育委員会の所管に属する事項

議会運営委員会

委 員	委 員	委 員	委 員	副 委 員 長	委 員 長
中 村 美 鈴	奥 田 の ぶ よ	川 西 聡	小 倉 一 博	小 原 徹 也	岡 嶋 正 広

議会の運営、議長の諮問に関する事項などを担当

議会広報常任委員会

委 員	委 員	委 員	委 員	委 員	副 委 員 長	委 員 長
栄 田 秀 之	下 田 敏 夫	高 橋 信 一 郎	中 村 美 鈴	森 亜 紀 子	小 林 久 幸	奥 田 の ぶ よ

議会だよりの編集・発行、議会ホームページの編集・掲載、議会広報に必要な調査などを担当

◆予算・決算に関する調査特別委員会
委員長 小倉 一博
副委員長 川西 聡

◆鳥取県東部広域
行政管理組合議会
議員 谷本 正敏
議員 小倉 一博

◆議会改革推進調査特別委員会
委員長 栄田 秀之
副委員長 奥田のぶよ
※特別委員会の委員は議長を除く
全ての議員です。

議会広報モニターを委嘱!!

6月25日八頭町議会
議長室で議会広報モニ
ター委嘱式を行いました。

応募で7人の方に議
長から委嘱状が交付さ
れました。令和3年6
月24日までの期間、発
行される議会広報に対
してより見やすく、わ
かりやすい紙面にして
いくため、ご意見を頂
きます。

【議会広報モニター】

氏名
川村 忠幸 様
嶋田 喜朗 様
福本 揚子 様
松下 聡子 様
宮崎 靖大 様
森下 恵子 様
山口 逸郎 様



▲ 議会広報モニター委嘱状交付式

11人が一般質問しました。
／
ここが聞きたい

一般質問

テーマ	質問事項	質問者	頁
福祉・医療	人間ドック	奥田	10
	難聴者(児)対策	川西	13
	国民健康保険制度の広域化に伴い 県が設定する「標準保険料率」	川西	13
	「霊柩車貸出事業」廃止の方針	川西	13
	歩くことは生活習慣病の予防になる	栄田	15
産業・観光	米の消費拡大	奥田	10
	八頭びよんこと	坂根	
	八束ふるさとの森	坂根	
	農業の振興策	小林	16
子育て	子どもたちの教育	森	11

※質問や町長などの答弁は、質問した議員の原稿に基づき掲載
することになっており坂根實豊議員の原稿は未提出であるため
掲載していません。

テーマ	質問事項	質問者	頁
まちづくり	道路行政	岡嶋	7
	若桜鉄道に関すること	岡嶋	7
	行政全般	小原	9
	町の助成事業周知	奥田	10
	地域振興	森	11
	住民生活を考える	小倉	14
	軽トラ町税減税	坂根	
	平成の合併は八頭町に何をもたらしたのか	栄田	15
防災・安全	プラスチックごみ対策	栄田	15
	自然災害への対処	尾島	8
	地震対策	小原	9
	交通安全対策	森	11
	町民の交通安全	中村	12



岡嶋 正広 議員

道路行政

町道認定規定に沿った台帳整理を

町長/管理費等町民の理解を得ることが難しくなる

質問

①町道認定規定では、一般交通の用に供せられ、有効幅員4メートル以上の道路とあるが、一般交通の用に供せられているとは言えない路線もある。台帳の整理をすべきと思うが。

②町道ホウキ線は道路側壁が河川堤防を兼ねている状況である。

河川を管理する県と堤防設置に向けた協議はできないのか。

③南集落北側に位置する重枝踏切、国中集落の2ヶ所の踏切は拡幅改良すべきと思うが。

④路肩修繕、外側線の修繕など維持管理が大切だと思うが。

答弁

吉田町長

①4メートル以下の道路についてはこれまでの経過、理由があると考え、これらを廃止すると管理上及び災害時の費用負担など理解をいただくことが難しくなる。

②行政として県といろいろ話をしながら今日に至っている。協議はして

いる。

③現在計画中の事業の進捗を見ながら実施検討ということになる。

④大規模修繕、清掃、草刈、外側線など維持管理は当然だが現状では限られた財源で実施している。

若桜鉄道関連

八東駅行き違いホーム費用対効果は

町長/投資を上回る効果が

見込まれると判断した

質問

①因幡船岡駅ではポスターとかイベント情報提供のためのチラシなどの掲示はできない。駅利用者への情報提供としての掲示を規制すべきではないと思うが。

②大型バイク等はスズキ製であり、本町のPRに大きく貢献している。公用車の購入とか、スズキ製の車、バイクを購入する町民へ助成するシステムは考えられないか。

③八東駅行き違いホーム建設に伴う費用対効果についてどう思うか。

答弁

吉田町長

①若桜鉄道関係イベントに限り、ガラス窓などにテープで貼っていただくようお願いしている。観光資源としての駅の

景観形成に協力いただければと思っている。

②スズキ製の車両が省エネ、エコ対策を導入していることもあり積極的に導入している。

助成制度については自由競争の観点から、適正ではないと考える。

③この事業は費用便益分折表の提出が、国交省の認可に必要であった。増便による年間便益を算定した結果、投資に対して便益が上回り効果が見込まれると判断した。

▲ 改良が待たれる重枝踏切



自然災害

どう対処するのか

町長/ 本庁舎と一体化が有益だ、検討する

教育長/ 町の防災訓練に加わり、防災教育を進める



尾島 勲 議員

質問

巨大化・複合化する自然災害にどう対処し、町民の暮らしを守るのか。
①防災・減災に向けた現在の取り組みは。
②発災時の対処は。
③今後に向けた取り組みは。

答弁 吉田町長

①毎年9月1日の八頭町防災の日の直近の日曜日に防災訓練を実施している。モデル集落を設定し、炊き出しなど多少大掛かりな訓練も計画している。災害弱者への周知方法は、複数の手段で情報発信することを心掛けている。

②業務継続計画（BCP）を平成24年度に作成したが、25年度以降、本町所有の財産や資源も大きく変化している。内容の見直しが必要だ。

災害弱者への対処は、郡家・船岡・八東の各保健センターを福祉避難所として開設し、保健師などの専門職を配置する。
③災害対策本部として機能し、持続可能な役場本

庁舎建設計画は、全国的に大災害が発生している中、重要な案件だ。

災害対策本部は、本庁舎と一体化が有益なので検討する必要がある。

災害弱者への対応は、避難行動要支援者の同意が3〜4割程度なので、登録の推進が急務だ。

障害者手帳更新時など、機会を得て登録推進を進めたい。

答弁 藪田教育長

①防災・減災教育は、理科や社会科に指導内容があり、必ず取り組むことになっている。

③学校現場だけでなく、町全体の防災訓練に加わるなどして、防災訓練・防災教育を進める。

質問

携帯電話の電波不感地域への解消は、行政の仕事だと思うが。

答弁 吉田町長

どういう形が良いか調査検討する。

質問

本町独自のローカル5G、教育現場のローカル5Gを構築し、防災・減災の環境整備が必要では。

答弁 吉田町長

アンテナを張り、出来ることから対応する。

答弁 藪田教育長

文字だけのマチコミメールに画像の添付も可能と思う。活用の準備を考える。



▲ 今なお復旧工事が続く昨年7月豪雨の被災現場(麻生地内)



小原 徹也 議員

コンビニ誘致

コンビニの考え方を問う

町長/地域住民の声を吸い上げてほしい

質問

①旧船岡地域に新しい形のコンビニ誘致は。産業観光課長は現地視察し、町長は現地確認をその後のような考えか。
②本町では、一般競争入札で現状を鑑みて競争原理の認識は。
③地元業者育成はどのような考えか。
④大小ながら、専門知識を有した業者がある。入札の関わり方を考えてみては。

答弁

吉田町長

①残念ながら私は、施設を見ていないのが現状だ。
②県東部の町と概ね同程度の落札率である。
③地域の安全・安心の為に必要な事と、町内業者で施工できるものには、入札に参加して頂きたい。
④行政が考えるべきではなくて、請け負った業者で考えて頂けたらと思う。



▲ 入札会場になる本庁舎

災害対策

地震対策は

町長/対応している

質問

①南海トラフ地震は予断を許さない状況だ。地震発生後、本町の支援対応は明確になっているか。
②本町は、日本各地で起きた地震災害を、教訓とし起きる問題の対応策は。
③関西圏には、本町出身者の方もおられ、一般の方より受け入れ要請があった場合の対応は。
④人を被災のない安全な場所に受け入れるのが、一番の出来る事だと思うが。

改修などの助成だ。
③町民も大事だが、他町村の方も大事で、無論同じように対応する。
④災害が起きれば、鳥取県から調査が入る。独自で受け入れというようないことは、どの自治体もしていないのが現状だ。

答弁

吉田町長

①本町では、甚大な被害が発生する恐れは少ないかと思う。本町は徳島県の4町と相互に応援することになっている。
②住宅の耐震化、危険なコンクリートブロックの

米の消費拡大

農業振興で米の消費拡大を考えては

町長/ 課題は承知しているが
状況を確認したい

奥田のぶよ 議員

質問

米の消費拡大について
本町の取り組みを伺う
①町全体でのキャンペーン
などの取り組みは。
②小中学校対象の食育の
中での米の学習は。
③学校給食の取り組みは。

答弁

吉田町長

①特設設定しているキャンペーンはないが、毎年八頭町マルシェで「うまい米コンテスト」を開催している。

答弁

藪田教育長

②栄養教諭が給食の時間中に町内の各小中学校を順次訪問し学年に応じたわかりやすい指導を行っている。

③提供するご飯は八頭町産米が100%だ。毎週木曜日がパンで米粉パンの提供もしている。

新米に切替わった日は学校へ周知し新米のおいしさを味わってもらえるようにしている。



▲ 八頭町産米使用の学校給食

質問

本町の食育で日本型の食生活の勧めを取り入れ、米の担当課ともつと連携をとるべきだと思うが。

答弁

吉田町長

農業部門の職員も計画の中に加わり食育の推進、ひいては米の消費拡大に取り組みたい。

助成事業の周知

本町独自のものができないか

町長/ 十分可能だ

質問

本町に越してきた時に一般の人が対象の事業がわかるものを一覧にできないか。各課にあるものをまとめてモデル家庭を設定し生涯にわたるものができないか。

質問

住まいであったり仕事、教育のどこが抜けている形ではなくきっちりとした一覧表が作成できないか。

今はアプリやネット、スマホで検索というのが当たり前の時代だ。早急にやらなければならないと思うが。

答弁

吉田町長

子育て支援では子育て応援ガイドブックを作成した。暮らしの便利帳に各種助成制度などを掲載している。

また、移住・定住応援パンフレットを作成、配布した。ホームページ、町報に掲載している。移住・定住のサイトは策定する予定だ。

生涯にわたるモデル家庭は条件設定が難しいが調査はしてみたい。

答弁

吉田町長

一括してみえる紙の紙面は必要だと考える。充実したホームページに努めたい。

※その他の質問
人間ドックについて



森 亜紀子 議員

交通安全対策

日交バスで通う園児の対応は

町長/ 検討している

【質問】

交通安全対策は本町においても課題の一つ。対策と教育は。

①交通安全協会との連携と情報の共有は。

②本町独自の高齢者の方の交通安全対策は。

③スクールバスの運行は。

【答弁】

吉田町長

①年4回の交通安全運動を連携して実施。郡家警察署とも密に情報共有を図っている。

②サロンなどで交通安全教室を開催。また安全運転サポート車体験会として、先進安全自動車に試乗など今後も継続したい。

【答弁】

藪田教育長

③スクールバスに乗車する児童には重点的に注意事項を確認。バスは安全運行が絶対的な条件。再三注意喚起している。

【質問】

日交バスで通う園児の対応は。

【答弁】

吉田町長

バス停の移転も含めて屋根付きも検討している。

【質問】

八東のスクールバス乗り場の検討は。

【答弁】

藪田教育長

県道敷地との関連もある。県とも話してみたい。

地域振興

町内施設のバリアフリーは

町長/ 極力対応したい

【質問】

本町の施設を伺う。

①空き施設の利活用は。

②未設置地区のまちづくり委員会は。

③お試し住宅は。

④八東駅行き違い線開設後の乗車計画は。

⑤町内施設のバリアフリー対応は。

【答弁】

吉田町長

①旧安部小学校は町の文化創造拠点の話をした。他は協議を行い検討する。

②残る地区でそれぞれ3回の検討会を開催。次は設立準備会へ移行し、推進したい。

③今秋、整備完了予定。その後PRしていきたい。

④利便性の向上や観光列車の導入による観光客の増加を見込む。

⑤ホームにスロープを整備。トイレも車椅子対応。

【質問】

八東駅の階段に手すりがないが工事予定は。

【答弁】

吉田町長

JRと若桜鉄道は違う。なかなか話が進まない。

【答弁】

吉田町長

今はどうこう言えない。

※その他の質問
子どもたちの教育について



▲ バリアフリー化に期待 (八東駅)

庁舎内にエレベーターがないが、リフォームなどにあわせて対応したい。

町民の交通安全

身を守る対策が求められるが

町長/危険箇所の検討と改善に取り組んで行く



中村 美鈴 議員

質問

少子高齢化時代、事故が多発する中で、高齢者の運転や若者の事故もあり、死傷者が絶えない。

職員の安全、町民の安全の為に絶対無事故の業務を遂行してほしい。

①各小学校のスクールバス、登下校時の危険箇所は。

②過去5年間の事故状況は。

③PTAや地域でパトロールなど見守り中、どういう効果があったか。

④4地区小学校の児童通学路や幼児の危険箇所は。

⑤高齢者の事故で、運転免許証の自主返納者への生活支援策は。

⑥自転車事故も増加中、通学路で危険箇所の把握と保険加入の推進は。

⑦公用車の事故で本町の現状は。

答弁 薮田教育長

①平成26年5件、27年21件、28年8件、29年10件、30年度20件（内バス停関連3件）。

②12件で、自損事故が多く人身事故はない。

③安心感を持って通う事ができ、マナーアップにつながっていると思う。

④通学路安全推進会議で、現地確認の上、具体策を協議し、安全確保を図る。

保育所の通所は、保護者の方の送迎が基本であり、注意し通所している。

⑥スポーツ保険で医療費を補填している。

⑤22年から免許証のない65才以上の高齢者や障がい者に、タクシー料金の2/3の助成制度や、若桜鉄道では、免許返納証明書を提示すれば、若桜駅から郡家駅間の運賃が1/2になる制度を設置。

答弁 吉田町長

⑦公用車102台、スクールバス13台保有。昨年も多くの個人的な事故があった。管理職などの会で注意喚起をしたり、安全日誌を毎日各車ごとに行う。

答弁 総務課長

⑦公用車102台、スクールバス13台保有。昨年も多くの個人的な事故があった。管理職などの会で注意喚起をしたり、安全日誌を毎日各車ごとに行う。

⑦公用車102台、スクールバス13台保有。昨年も多くの個人的な事故があった。管理職などの会で注意喚起をしたり、安全日誌を毎日各車ごとに行う。

⑦公用車102台、スクールバス13台保有。昨年も多くの個人的な事故があった。管理職などの会で注意喚起をしたり、安全日誌を毎日各車ごとに行う。

⑦公用車102台、スクールバス13台保有。昨年も多くの個人的な事故があった。管理職などの会で注意喚起をしたり、安全日誌を毎日各車ごとに行う。

⑦公用車102台、スクールバス13台保有。昨年も多くの個人的な事故があった。管理職などの会で注意喚起をしたり、安全日誌を毎日各車ごとに行う。

⑦公用車102台、スクールバス13台保有。昨年も多くの個人的な事故があった。管理職などの会で注意喚起をしたり、安全日誌を毎日各車ごとに行う。

質問

区長の通報でバス停の停車場所が、その都度違うらしいが。

答弁 薮田教育長

事業者と話をしている。

質問

鳥取県警へ問い合せの際、本町の自主返納者は

答弁 吉田町長

本町商工会と話をして返納の方にも努力したい。

5年間で2倍の約70人だが、その方々への返納メ리트は他にはないか。



▲ スクールバスの朝の風景（見槻中）



川西 聡 議員

霊柩車貸出事業

年度内の利用者が皆無になるまでは存続を

町長/行政懇談会で意見を聞き 最終判断する

質問

本町は事業廃止の方針を固め3月の全員協議会で説明し理解を求めた。事業開始の当初の目的は「民間業者の霊柩車利用料の高額が予想される」との私の調査依頼への回答だった。

①貸出に関する条例改正（平成26年4月）後、事業の周知徹底の内容は。②全協での廃止理由の説明では「民間事業者の充実」「利用者数の減」「貨物運送事業法の指導」などであった。今でも同様か。③事業開始時の理由に照らせば、年度内利用者が皆無の結果が出るまでは事業は存続するべきだが。

答弁

吉田町長

①改正内容は、霊柩車の利用者を「死亡者が町民の場合また町内で死亡した場合に限る」としていた内容に加え「町内に在住している者で葬儀を営む者またはその代理人」とした。町外で死亡の場合には利用出来なかったのが文言を追加した。特段の広報はしていない。

い。死亡届に來られた家族及び葬儀会社へ広報を行っている。

②同様だ。車両の老朽化（郡家地域25年・八東地域15年）も加える。

③今夏開催予定の行政懇談会で状況説明や意見を聞き最終判断する。

質問

①利用範囲を拡大したのに周知しないのはどうか。②全協の説明資料には維持費に関し一行もないが資料には「サービスが民業圧迫とも取られかねない状況」とある一方で「利用者の減少は、民間事業者の利用が進んでいる」とある。この記述は二律背反していないか。

資料には「サービスが民業圧迫とも取られかねない状況」とある一方で「利用者の減少は、民間事業者の利用が進んでいる」とある。この記述は二律背反していないか。

答弁

吉田町長

①利用件数減は関係ない。②記載は確かにしていない。やはり費用は掛かる。

答弁

町民課長

②民間業者は運転手の賃金や整備代などを加味して金額設定をしている。本町は運転手に払う金額

のみを利用料としている。これは公正な競争原理に反する民業圧迫に当たるとではないか。

また、手軽な方法を町民は選び利用も増えていることを推測して書いた。

質問

民間の利用が進んでいるから、公的サービスが圧迫され本町の霊柩車の利用が減少しているのが実際ではないのか。

答弁

吉田町長

恐らく川西議員と私の意見は合わない。

※その他の質問
難聴者（児）対策について
国民健康保険制度の広域化に伴い県が設定する「標準保険料率」について



▲ 貸し出されている霊柩車（郡家地域）



小倉 一博 議員

住民自治

地域パワーが衰退しているが

町長/向上に努めたい

質問

住民生活に直接関係する次の課題を伺う。

①上下水道施設の維持管理について、下水管のつまりは年何件あるか。不明水は。

②ケーブルTVの加入促進について、最終的加入目標は。八頭町チャンネル(11)の今後の方向性は。

③広域の可燃物処理施設の建設が始まっている。現状の課題とブラごみに対する町の取り組みを聞く。

答弁

吉田町長

①平成30年は下水本管の異物つまりが3件、管轄途中のマンホールポンプ施設や終末処理場のポンプ施設への異物噛み込み66件だ。町報、区長会などで、住民の適正使用をお願いしている。

年次的に不明水調査をしている。30年度は6集

落の調査をした。不明水侵入箇所については随時補修をしている。

②23年にケーブルTVを整備して以来、光ケーブルの引き込み件数5756世帯の内2076世帯36.1%が加入。

加入目標は37%で総務省に申請した。現在加入料金や基本料金を半年無料のキャンペーンを実施している。番組の充実を図り加入率向上を図る。

③可燃、不燃ごみとも近年は横ばい傾向にあるが、ごみの減量化に努め循環型社会を目指す。

ブラごみは東部広域がエコ・リサイクルセンターに委託処理して、加工会社に出荷している。不法投棄の防止施策を進める。

④鳥取労働局の雇用状況は有効求人倍率が1.71で人手不足感が強いのに地元を離れる若者が多い。高校生の地元企業訪問や大学生のインターンシップにも取り組んでい

る。地元企業の情報提供に努めたい。

⑤まちづくり委員会の活動、集落サロンやサロンの合同開催などが実施されている。老人クラブや

生涯学習グループの支援も必要で、まちづくりの原点である集落自治の向上に努めたい。



▲ みんなで公園の草取り



栄田 秀之 議員

合併は何を
もたらしたのか

財政基盤の強化は

町長/ 特例債活用
保育所新設・学校の整備が図られた

質問

平成に幕が閉じ、新しく令和の時代に入った。政府は行政基盤の強化や地方分権の推進を目的として、2010年にかけて市町村合併を推進した。2014年、日本創生会議が消滅可能性自治体を公表した。人口減少対策が急務となった。

2018年政府は圏域を単位としたまちづくりの検討を開始、人口減少社会を乗り切る一手として注目されている。

①平成17年の旧3町の合併は本町に何をもたらしたのか。

②合併して14年、残された課題は何か。

③圏域構想の本質はさなる合併とも言われている。圏域の連携は。

④人件費などの一定の効果はあったが施設管理費など民間委託費が増えた。行政の効率化は。

以上について伺う。

答弁

吉田町長

①財政支出の削減、重複施設の解消、特例債を活用して保育所新築、小学

校の整備など取り組んだ。
②人口減少、出生率の減少など。
③連携中枢都市圏構想推進要綱に合併を推進するためでないとは明記がある。
④合併後行政改革推進プランを策定し、行財政の効率化に努めている。



▲ 統一された保育サービスの開始(八東保育所)

プラスチックごみ対策

マイクロプラスチック問題は

町長/環境パトロールで
不法投棄対策の推進を図る

質問

今、海洋ゴミとして直径5ミリ以下の微小なマイクロプラスチックが問題となっている。浜辺に漂着したプラスチックごみは、波や砂、日射によって分解されて小さくなると再び波とともに沖に出る。海中を移動する間に表面に汚染物質を吸着する。この汚染物質の中で特に注意すべきダイオキシン・DDTとか、人体に有害な物質がある。

①本町のプラスチックごみ対策の取り組みは。

②ポイ捨てのペットボトル・レジ袋・たばこの吸い殻の対策は。

答弁

吉田町長

①今後も現状のとおり週1回の回収を行う。他町の状況も確認したい。

質問

②ごみが不法投棄やポイ捨てなど、適正に処理されていない結果だ。環境パトロール、啓発看板の設置など、不法投棄防止対策の推進を図る。

芦屋市では良好な住環境を維持するため、たばこや空き缶のポイ捨てを禁止するマナー条例を定めている。八頭町マナー条例を検討してどうか。機会を得て議会でも提案したいが。

答弁

吉田町長

議会での提案を頂いたもので、一緒に考えたい。

※その他の質問

歩くことは生活習慣病の予防になる



小林 久幸 議員

農業の振興

星空舞の取り組みは

町長/県はブランド化を進める計画

質問

本町では、平成27年3月に第2次の総合計画を策定、9月には八頭町総合戦略を策定し、農林業を初めとする地場産業の強化に取り組んできた。早4年の歳月が経過したが、農業所得が増えたとの話は聞こえてこない。多くの農家からは、農業所得の減少で悲鳴が上がっている。本町の農業を取り巻く状況は深刻だ。農地、農業を守る施策を考えるより先に、農業収入を増やす施策を考えてこそが、農業の活性化につながるのではないか。

①県が種苗登録した星空舞の特徴と、本町の栽培面積とその取り組みは。
②県が発表した酒米の特徴と本町の取り組みは。
③本町のブランド米、神兔の販売戦略は。
④梨、柿の生産振興策と販売戦略は。

①県が種苗登録した星空舞の特徴と、本町の栽培面積とその取り組みは。
②県が発表した酒米の特徴と本町の取り組みは。
③本町のブランド米、神兔の販売戦略は。
④梨、柿の生産振興策と販売戦略は。

答弁 吉田町長

①星空舞は、鳥取県が開発したコメの新品種で、30年11月より販売が開始されておりコシヒカリより背丈が短く、倒れにくく、高温に強い特性を持ち、味覚はまろやかさがあり、濃厚で食感は粒が立ちもちもちとして、冷めても触感が変わらずおいしいといった特徴がある。栽培面積は、6経営体で4.4ha計画し、販売は県がJ Aと連携して販路開拓とブランド化を進める計画。

の優良品種を導入し、辺地の基盤整備を行い反収を向上させる取り組みを行っている。また柿も、モデル園整備に向けて検討をしている。新品種の輝太郎を中心にこおげ花

御所柿の生産振興を行っていききたい。
販売戦略は、J A出荷を主に関西を中心に東京、鹿児島、また台湾を中心とした貿易出荷を行っており今後は市

場より、高単価で販売できる進物、さらには直売による数量を増やしていきたい。



▲ 雑味の少ない酒米を目指して

陳情の審査

○採択としたもの

件名	提出者	理由	備考
ハンセン病元患者家族に対する救済を求める意見書の提出を求める陳情	ハンセン病元患者家族に対する政府の謝罪と賠償を求める会 会長 池原 正雄	陳情の趣旨を認めた	意見書提出
地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 西村 裕生 他 1 名	陳情の趣旨を認めた	意見書提出
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情	鳥取県教職員組合 東部支部長 橋本 智洋 他 1 名	陳情の趣旨を認めた	意見書提出
(旧)船岡保育所使用に変更する陳情書	八頭町文化協会美術部 船岡陶芸クラブ 代表 池本 敏美 他 2 名	陳情の趣旨を認めた	

○審議未了廃案となったもの

件名	提出者	理由	備考
汚染土および放射性物質等の持ち込み拒否に関する条例の制定の陳情	岸田 まどか		

○不採択としたもの

件名	提出者	理由	備考
辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	「新しい提案」実行委員会 安里 長徒	国防・外交に係る重要案件で、地方議会がいうべき問題ではない	
辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	全国青年司法書士協議会 会長 半田 久之	国防・外交に係る重要案件で、地方議会がいうべき問題ではない	
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁	最低賃金1000円の全国一律化実現は現状では困難であり、また、鳥取県内の中小企業経営の実態にそぐわない	
日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書	一般社団法人日本沖縄政策研究フォーラム 理事長 仲村 覚	国際機関のことであり、国の対応に任せるべき	
核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書採択についての陳情	ヒバクシャ国際署名をすすめる鳥取県民の会 代表 鳥取県原爆被害者協議会 会長 後藤 智恵子	国防・外交は国の専権事項であり、国のおかれている立場もある。意見書提出は馴染まない	
米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情	宜野湾市民の安全な生活を守る会 会長 平安座 唯雄	国防・外交に係る重要案件で、地方議会がいうべき問題ではない	

よく分かる

議案等議決結果

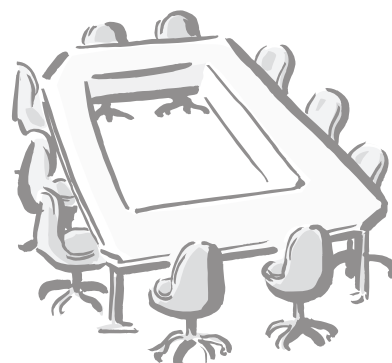
(第3回臨時会・第5回臨時会・第6回定例会)

○全会一致で可決・採択したもの

議案等 番 号	件 名	議案等 番 号	件 名
第3回臨時会			
52	専決処分の承認を求めること (八頭町税条例の一部改正)	54	専決処分の承認を求めること (八頭町介護保険条例の一部改正)
53	専決処分の承認を求めること (八頭町国民健康保険税条例の一部改正)	56	八頭町立八頭中学校空調設備整備(機械設備) 工事請負契約の締結
第5回臨時会			
58	備品購入契約の締結(パソコン)	59	備品購入契約の締結(町営バス)
第6回定例会			
62	訴訟の提起	陳情6	ハンセン病元患者家族に対する救済を求める 意見書の提出を求める陳情
64	八頭町森林環境譲与税基金条例の制定	陳情9	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1 復元をはかるための、2020年度政府予算に係る 意見書採択に関する陳情
65	八頭町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び 費用弁償に関する条例の一部改正	陳情10	(旧)船岡保育所使用に変更する陳情書
66	ふるさと活性化基金設置条例の一部改正	発議3	ハンセン病元患者家族に対する救済を求める 意見書の提出
67	八頭町地区福祉施設設置条例の一部改正	発議4	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出
68	令和元年度八頭町一般会計補正予算(第2号)	発議5	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充に 係る意見書の提出
69	令和元年度八頭町介護保険特別会計補正予算 (第1号)	発議6	新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出

○全会一致で不採択となった陳情

第6回定例会	
陳情15	米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する 意見書に関する陳情



○賛否の分かれたもの

議案等 番号	議 席 番 号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	結 果
	件 名	奥田のぶよ	川西 聡	小倉 一博	小林 久幸	森 亜紀子	中村 美鈴	岡嶋 正広	坂根 實豊	小原 徹也	尾島 勲	高橋信一郎	下田 敏夫	柴田 秀之	
第3回臨時会															
55	旧船岡中学校改修工事請負契約の締結	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
57	平成31年度八頭町一般会計補正予算(第1号)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第5回臨時会															
60	八頭町国民健康保険税条例の一部改正	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第6回定例会															
動議	議案第70号を委員会付託すること	×	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	否決
70	財産の貸付(旧安部保育所)	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	可決
陳情5	辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	不採択
陳情7	辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	不採択
陳情8	地方財政の充実・強化を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	採択
陳情11	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
陳情12	日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	不採択
陳情13	汚染土および放射性物質等の持ち込み拒否に関する条例の制定の陳情	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	審議 未了
陳情14	核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書採択についての陳情	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	不採択

賛成「○」、反対「×

議案の採決は、谷本正敏議長を除く13人で行う。

元氣なまちに!!

覚王寺 河村 美保さん

主な活動

● やずつ子連の代表

鳥取しゃんしゃん祭りでは、やずつ子連は令和元年も出場し八頭町をPRします。

● 八頭町PR隊

合併当初に発足しました。八頭町音頭などを踊って県外で町をPRし、町内のイベント、ふるりの森祭りなどにも出演しています。

● 交通安全指導員

通学時の安全確保などを行っています。

● 八頭町女性消防隊

今年11月13日に鳥取県代表として全国女性消防操法大会に指揮者として出場します。現在、週3回練習しています。

まちを盛り上げたい

八頭町（旧郡家町）で生まれ育って、物心がついた時から安藤祭りです。育ったので根っからの祭り好きです。しゃんしゃん祭りは旧郡家町時代から出場して現在に至ります。創作の振り付けを考え、小学生から老若男女みんな楽しんで踊っています。踊りの練習や操法の練習などこの夏は多忙ですが、「元氣な町にしたい!」の思いで一生懸命がんばります。



定例会本会議をケーブルテレビで中継しています

議会の傍聴をしてみませんか

一般質問は再放送しています

TEL 0858-72-3975 FAX 0858-72-2641 (議会事務局)

八頭町議会

検索



編集後記

令和元年初の6月定例会では陳情が11件と多くあり時間をかけた審議となりました。

また、議会の構成が変わり議会広報常任委員会も新しいメンバー構成となりました。

前期の委員会では、いち早く情報を届けるために1か月発行を早めることができました。今期は、町民の方々からのご意見をもっと取り入れるように議会広報モニターを設置しました。

幅広くご意見を頂きながら一生懸命研鑽し、よりよいものを目指して努力してまいります。皆さまからのご意見、ご感想お聞かせください。

(記：奥田のぶよ)

編集委員

委員長	奥田のぶよ
副委員長	小林 久幸
委員	森 亜紀子
委員	中村 美鈴
委員	高橋信一郎
委員	下田 敏夫
委員	栄田 秀之